

# 下水道公社だより



しずくちゃん

—下水道 きれいな水を 未来まで—



すいてきくん

2009年冬季号(第28号)

## 目次

『快適生活 下水道フォーラム 2008』を終えて  
平成20年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果  
平成20年度下水道排水設備工事責任技術者登録更新講習会結果  
『市町村技術支援業務(設計等受託業務)』のご案内  
下水道未普及解消重点支援制度の創設について(情報提供)

## 『快適生活 下水道フォーラム 2008』を終えて

去る12月20日(土)に当公社の主催、福島県・須賀川市の共催により、須賀川市文化センターにて、「水環境と下水道」～きれいな水、いまも、これからも。～をテーマに『快適生活 下水道フォーラム 2008』を開催いたしました。

挨拶の後、テレビやラジオで活躍され、現在は国立大学法人東京海洋大学客員准教授として教鞭もとられる“さかなクン”氏による



「水とさかなのかんけい」と題しての記念講演では、水環境問題と下水道の係わりについて、さかなのイラストを描きながら、さかなたちが棲めるきれいな川といった水環境を守っていくことの大切さをお話いただきました。

描いたイラストを会場内の子供たちにプレゼントする場面もあり、会場内を沸かせました。

また、水を汚さない工夫として、汚れたお皿等は、新聞紙で汚れを拭き取り、流し台に直接流さないようにするなど『汚れを出さない工夫をしましょう!』と来場者の皆さんに呼びかけをしていただきました。

第二部では、学区内にある須賀川(通称:下の川)の浄化活動を行っている「須賀川市立第三小学校」5年生の皆さんと同じく須賀川で清掃等の地域活動を実践している「須賀川に清流を取り戻す市民の会」の皆さんによる活動発表を

行っていただきました。「須賀川市立第三小学校」の発表では、川の汚れの原因は、生活排水によるものと考え、

ごみ拾いや木炭を利用した浄化活動を実践してみて、水環境を守り続けることの難しさと大切さを来場者の皆さんに伝えていただきました。また、「須賀川に清流を取り戻す市民の会」の発表では、浄化活動への地元小学生参加によってお互いの交流が深まり、須賀川での活動が地域の繋がりを生むきっかけとなったことと、継続した取り組みの重要性を述べていただきました。

最後となりましたが、本フォーラム開催にあたり、ご支援・ご協力をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。



## ◎下水道フォーラムの開催地について

平成21年度も下水道フォーラムの開催を予定しておりますので、開催を希望される市町村は当公社までご連絡ください。

- ※1 本フォーラム開催に要する費用は、当社が負担しますので、開催市町村における費用負担はありません。
- ※2 開催市町村においては、地域で水環境啓発活動を実践する活動発表団体の推薦と、当日の会場案内等で数名の人員協力をお願いします。

## 平成20年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果

本年度の「下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験」は、平成20年11月23日(日)に『日本大学工学部』において実施しました。

試験結果については平成20年12月15日(月)に合否結果を受験者へ送付するとともに、公社HPへ合格者受験番号を掲載しました。

試験結果は以下のとおりです。

受験者数：207名 (320)
合格者数：122名 (174)
合格率：58.9% (54.4)

※( )内はH19年度結果

また、合格された方には合格証と一緒に、「責任技術者登録申請書(新規)」を送付し、現在までに、合格者全員が責任技術者登録の手続きを完了しています。

なお、新規登録者への技術者証の送付は、3月中旬予定です。

当公社では、今回結果を発表した資格認定試験を始め、登録更新講習会の開催、責任技術者の登録事務といった下水道排水設備工事責任技術者資格認定業務を県内市町村と協定を締結して実施しております。この資格は排水設備工事を行うために必要な資格として、市町村の条例及び規則等で定められております。そのため、責任技術者の専任登録届及び取消届、住所等の変更による記載事項変更届等の事務手続きは協定市町村を経由して行われます。



## 平成20年度下水道排水設備工事責任技術者登録更新講習会結果

平成20年度の更新講習会を下記により開催しております。(財)福島県下水道公社認定による下水道排水設備工事責任技術者については、登録の有効期間が5年間であるため、登録期間満了後も引き続き登録を受けるときは、技能・技術の維持及び最新技術の習得等を目的とする更新講習を受講し、登録の更新を受けなければなりません。

記

実施年月日	更新対象者	受講者	場 所
平成21年2月3日(火)	137名	89名	富岡町文化交流センター(富岡町)
平成21年2月5日(木)	136名	116名	ヴィンテージガーデン(相馬市)
平成21年2月10日(火)	159名	110名	会津アピオ(会津若松市)
平成21年2月13日(金)	399名	323名	ビッグパレットふくしま(郡山市)
平成21年3月12日(木)	375名	実施予定	ビッグパレットふくしま(郡山市)
合 計	1,206名		

(H19:299名)

更新講習会はすでに4会場で終了しましたが、各会場における欠席者も最終回(3月12日)での受講が可能です。登録の更新を希望される方は必ず受講してください。

## 『市町村技術支援業務（設計等受託業務）』のご案内

平成 19 年度末現在の全国の下水道処理人口普及率は平均で 71.7%であるのに対し、福島県は平均で 45.7%と全国平均を大きく下回り、全国では 37 位にランクされる低い普及率です。

福島県の下水道普及が遅れた原因としては、他県に比べ下水道の歴史が比較的に浅いこと、広い県土面積を有し集落が散在していること等によるものが原因と考えられています。しかし、我々県民の貴重な財産である自然豊かな県土を守り、快適な生活環境を築くためには、下水道の普及促進が避けて通れない重要な課題となっています。

市町村が下水道施設を整備しようとする場合、担当職員の確保が問題となります。処理場、ポンプ場、管路施設を建設するためには、土木、建築、機械、電気等の一定の専門技術を有する職員の配置が必要となりますが（下水道法第 22 条）、その様な職員の確保はなかなか大変なのが実情のようです。

下水道公社では、執行体制が不十分な自治体を技術的な側面から支援するため、下記の計画段階から工事管理に至る総合的な技術支援事業を実施しております。また、下記以外においても各種計画策定業務等を実施し、幅広く市町村の皆様をサポートしていきたいと考えておりますのでお気軽にご相談ください。

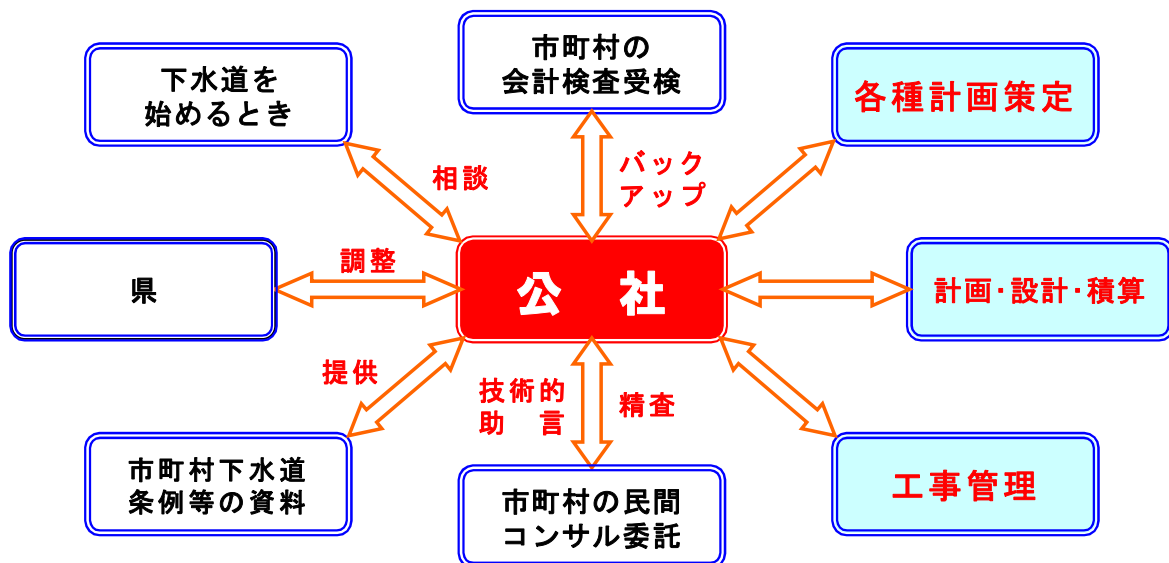
**各種計画策定**：関係機関との協議や他計画との整合を図り、各種計画策定を実施します。

**計画・設計・積算**：常に最新の積算資料や国県等の各種基準に準拠した適切な計画、設計、積算を実施します。

**工事管理**：各種仕様書等に基づき、工事の出来形、品質、工程管理等の他、変更設計も実施します。

この他、下水道公社では市町村技術支援事業の一環として「**下水道事業相談室**」を開設しておりますので是非ご利用ください。

下水道事業の総合的な技術支援の一環として  
下水道施設設計等を受託いたします



## 下水道未普及解消重点支援制度の創設について（情報提供）

国土交通省では、平成21年度の新規採択事業として、「下水道未普及解消重点支援制度」を予定しておりますので参考にしてください。

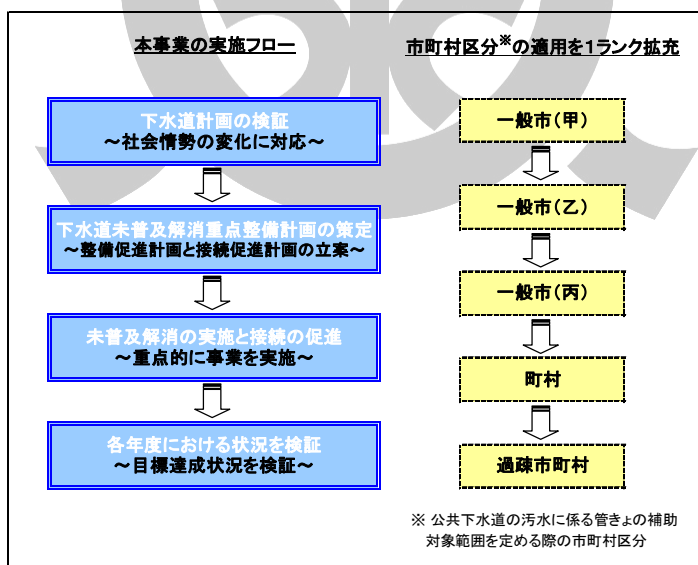
### 1. 背景・目的

下水道による処理人口普及率は、全国では約72%に達しているが、未だに地方都市の郊外部、あるいは中小市町村では多くの未普及地域を抱えている。また、近年、人口減少、高齢化の本格化等社会情勢が大きく変化している。

以上を踏まえ、社会情勢の変化を前提に、下水道計画の見直しを行うとともに、地域活性化等の観点から、今後、概ね10年以内に人口の集中している地区を対象に未普及の解消を図り、下水道の普及率の地域間格差の是正を推進する。

### 2. 概要

下水道整備に積極的に取り組んでいるが、未だ普及の遅れている市町村が、社会情勢の変化を踏まえ下水道計画を見直した上で、人口の集中している地区（費用効果分析結果が1.5以上の地区に限る。）について、未普及解消を図るべく計画期間10年以内の整備及び接続の促進に係る「下水道未普及解消重点整備計画」を策定し、同計画に位置付けられた汚水に係る管きよの補助対象範囲の拡充を図る。なお、各市町村において、毎年度、目標の達成状況を検証し、目標と乖離している場合は本制度対象から除外する。



### 財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町2番1号 福島県庁舟場町分館3F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage: <http://www.fspc.or.jp>

E-mail: [kikakukanri01@fspc.or.jp](mailto:kikakukanri01@fspc.or.jp)

※本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。